

CMスクール4月開校

CM協

最高レベルのCM実務教育を提供する。発注者にも役立つ内容で、ぜひ受講してほしい。受講料は1万円です。

受講申込スタート 体系的な実務教育提供

日本コンストラクション・マネジメント協会（日本CM協会、近江隆会長）は、高度なCM実務者を養成するCMスクールを4月に開校する。分野ごとに第一線で活躍する実務者を講師に迎え、国内初となる体系的なCM実務教育を目指す。4月14日の開校に向け、3日から受講者を募る。将来的には、地元大学などと連携し、地方での展開も視野に入れている。幅広い専門家が結集、共有する知恵やノウハウを体系化し、実務者を養成する。コースは、初学者向けの「基礎コース」と、実務者向けの「実践・理論コース」で構成し、後者に軸足を置いたカリキュラムを編成する。実践・理論コースは、「リグジョン・マネジャー（CCMJ）」のCCPD（継続職能研修）にも対応するが、有資格者でなくても受講できる。複数回の受講も可能で、1日通えば1か月の講座を同時に申し込む（計4回）で終了し、講座単位で受講できる。社を割り引くほか、学生割引も用意した。3日曜から同協会のホームページ（<http://www.cmajor.com>）で詳細を公表する。幅広い分野を横断し、各分野の高度な専門知識を要するCMは、発注者に対する守秘義務もあって、実務教育が難しかった。しかし、要望が根強いことから、同協会は高度な理論を学べる場を提供し、CMの普及につなげる。

近江会長は「わが国で